



はじめに

- [Cisco Identity Services Engine の概要 \(vii ページ\)](#)
- [目的 \(viii ページ\)](#)
- [対象読者 \(viii ページ\)](#)
- [マニュアルの表記法 \(viii ページ\)](#)
- [関連資料 \(ix ページ\)](#)
- [マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート \(x ページ\)](#)

Cisco Identity Services Engine の概要

Cisco Identity Services Engine (ISE) は、企業でのコンプライアンスの順守、インフラストラクチャのセキュリティの強化、サービス オペレーションの合理化を実現する、次世代のアイデンティティおよびアクセス コントロール ポリシーのプラットフォームです。Cisco ISE の固有のアーキテクチャにより、企業は、アクセス スイッチ、Wireless LAN Controller (WLC)、バーチャルプライベート ネットワーク (VPN) ゲートウェイ、およびデータセンター スイッチなど、さまざまなネットワーク要素に ID を結びつけることで予防的な管理を決定するために、ネットワーク、ユーザ、およびデバイスからリアルタイムのコンテキスト情報を収集することができるようになります。

Cisco ISE は Cisco Security Group Access Solution のキー コンポーネントです。Cisco ISE は、統合されたポリシーベースのアクセス コントロール ソリューションで以下を実現します。

- 認証、承認、アカウント (AAA)、ポスチャ、プロファイラ、ゲスト管理サービスを 1 つのアプリケーションに結合します。
- 802.1X 環境を含むネットワークにアクセスしているすべてのエンドポイントのデバイス ポスチャをチェックすることでエンドポイント コンプライアンスを徹底します。
- ネットワーク上のエンドポイント デバイスの検出、プロファイリング、ポリシーベースの配置、モニタリングのサポートを提供します。
- 集中型展開および分散型展開においてポリシーの一貫性が維持され、サービスを必要な場所に配信できるようになります。
- Security Group Tags (SGT) および Security Group (SG) Access Control List (ACL) によって Security Group Access (SGA) などの高度な強化機能を使用します。
- 小さな事務所から大企業まで様々な環境の展開シナリオに対応するスケーラビリティをサポートします。

Cisco ISE のアーキテクチャは、集中型ポータルからネットワークを設定して管理できるように、スタンドアロンの導入と分散型の導入をサポートします。Cisco ISE の機能の詳細については、『[Cisco Identity Services Engine Admin Guide](#)』を参照してください。

目的

このアプリケーションプログラミング インターフェイス (API) リファレンス ガイドは、サポート対象の API が提供する機能の概要だけを説明します。この API リファレンス ガイドの目的は、Cisco ISE 展開内で概説された API を使用するための基本的な注意事項を、開発者、システム管理者やネットワーク管理者、またはシステム インテグレータに提供することです。

REST API コールは、次の種類のデータを確認するためにクエリーを使用します。

- アクティブ セッションの数
- アクティブ セッションのタイプ
- アクティブ セッションの認証ステータス
- 使用中の MAC アドレス
- 使用中の NAS の IP アドレス
- ノードのバージョンとタイプ
- ノードのセッション障害の理由

外部 RESTful サービス API および関連 API コールは、Cisco ISE リソースに対して CRUD (作成、読み取り、更新、削除) 操作を実行するために使用できます。外部 RESTful サービスは HTTP プロトコルおよび REST 方法論に基づいています。



(注)

Cisco ISE ネットワークとそのノードおよびペルソナ、動作または用途の概念、Cisco ISE ユーザー インターフェイスの使用法の詳細については、『[Cisco Identity Services Engine Admin Guide](#)』を参照してください。

対象読者

この API リファレンス ガイドは、ネットワーク環境内で Cisco ISE アプライアンスを管理する経験豊富なシステム管理者、API を利用するシステム インテグレータ、Cisco ISE 導入の管理やトラブルシューティングの役割を持つサードパーティ製パートナーを対象としています。この API リファレンス ガイドを使用する前提条件として、トラブルシューティングと診断方法について、API コールの作成および解釈方法について、基礎を理解しておく必要があります。

マニュアルの表記法

ここでは、このマニュアル全体で使用されている表記法について説明します。



注意

「要注意」の意味です。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記載されています。



(注) 「注釈」です。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。

この API リファレンス ガイドは次の表記法を使用して、指示と情報を伝送します。

項目	表記法
手順で選択する必要があるコマンド、キーワード、特殊な用語、およびオプション	太字
ユーザが値を指定する変数、および新しい用語や重要な用語	<i>italic</i> フォント
表示されるセッション情報、システム情報、パス、およびファイル名	screen フォント
ユーザが入力する情報	太字の screen フォント
ユーザが入力する変数	イタリック体の <i>screen</i> フォント
メニュー項目およびボタン名	太字
選択する順序に並べられたメニュー項目	[オプション (Option)] > [ネットワーク設定 (Network Preferences)]

関連資料

ここでは、このリリースのマニュアルと、このプラットフォームのマニュアルの情報を提供します。

Cisco ISE の全般的な製品情報は <http://www.cisco.com/go/ise> で確認できます。エンドユーザ マニュアルは、Cisco.com の http://www.cisco.com/en/US/products/ps11640/tsd_products_support_series_home.html から入手できます。

プラットフォーム別のマニュアル

- Cisco Secure ACS
http://www.cisco.com/en/US/products/ps9911/tsd_products_support_series_home.html
- Cisco NAC Appliance
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6128/tsd_products_support_series_home.html
- Cisco NAC Profiler
http://www.cisco.com/en/US/products/ps8464/tsd_products_support_series_home.html
- Cisco NAC ゲスト サーバ
http://www.cisco.com/en/US/products/ps10160/tsd_products_support_series_home.html

マニュアルの入手方法およびテクニカルサポート

マニュアルの入手方法、テクニカルサポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。